爭議の發生原因

郵愛会は昭和三年七旬設立されたるものなるが當時設立の目的は相互に親睦のためたりしが雜誌の回讀等に依「戰線ベルクス主義等より來る思想次第に進み前普合局長榎本衆太郎赴任當時は既に相當の智識を持ち官僚的なる前榎本局長とは衆々衝突し事務上に差支多大なりしため前榎本局長は遂に大阪逓信局より左遷され此年和田局長に轉任を命ぜられたるが郵愛會員は大いに氣勢を擧ぐ連々上司の命に服さざるの行動現はれたる爲め、逓信局側も相當考慮し、現在局長岡田七郎を赴任せしめ裏面より親睦会破壊を計画し居たりしが遂に今回左の状況より爭議に移りたり。

神戸中央電信局郵達々金岡某氏服裝点檢中異樣なる服裝の出勤したるを次て班長中西政一之れに對し注意を與へたるところ日頃より反目仲惡なる爲め中西は之を憤り右中西帰宅の途上之を殴打負傷せしめたり之に依り局側は金岡に對し辞職勧告したるが局之を応ぜざるため七月廿六日郵達課長金治經治を懲戒免職を神渡(こう)經治中西両係共電信局急逓郵達々金岡某氏を「逓信四天王太郎を中心とする大阪喜一郎若林春太郎等組織し日頃より反目仲惡なる大阪喜一郎若林春太郎等組織し日頃より反目仲惡なる中西は之を憤り右中西帰宅の途上之を殴打負傷せしめたり之に依り局側は金岡に對し辞職勧告したるが局之を応ぜざるため七月廿六日郵達課長金治經治を懲戒免職を神渡(こう)經治中西両係共電信局急逓郵達々金岡某氏を「逓信四天王太郎を中心とする